

オルタナ研究所

# 資産担保融資（ABF）： プライベート・クレジットの 次なるフロンティア

# 資産担保融資（ABF）とは？

多様な資産に裏付けられたキャッシュフローを担保として  
組成されるプライベート融資の形態

# プライベート・クレジットの一角を占めるABF

## プライベート・クレジットのユニバース

直接融資	メザニン	資産担保融資 (ABF)	オポチュニスティック	ディストレスト
創業者が経営する企業やプライベート・エクイティ (PE) スポンサー付き企業に対して発行されるシニアデットで、成長支援に活用されるケースが多い	シニアデットと株式の中間に位置するジュニアデットで、レバレッジド・バイアウト、資本再編、企業買収用資金に用いられることが多い	企業の資産、現金、売掛金を担保に提供される特定目的型の融資	財務面が健全で、問題なく債務を履行している企業で、流動性や満期など緊急の資金需要に対する融資	債務超過や倒産など、財政難に直面している企業に対するディスカウント・ファイナンス

プライベートABFは貸し手に資金を供給し、その貸し手が最終的な借り手に融資を行います。

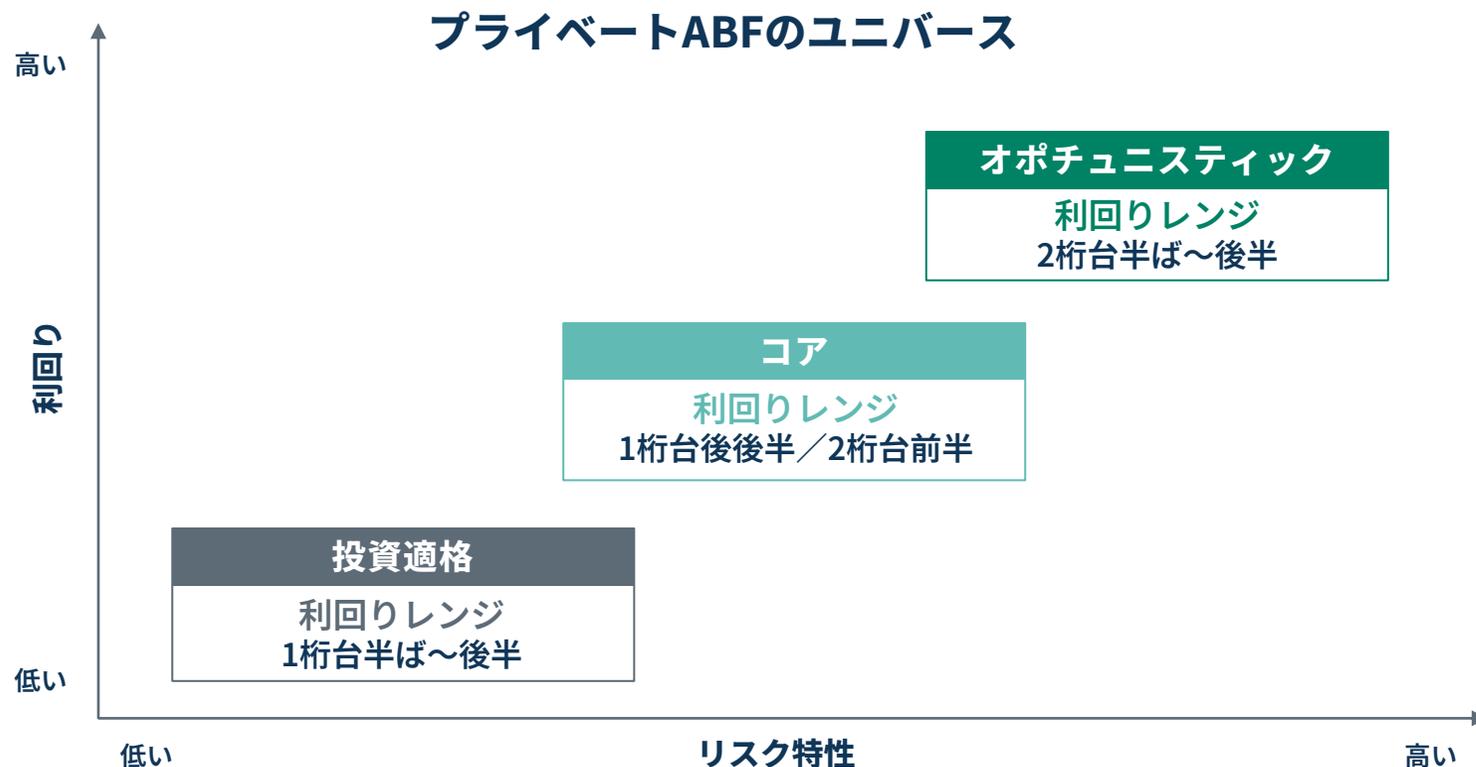
# プライベートABFの投資ユニバース

拡大するコア市場において魅力的な投資機会が提供されている

**投資適格：**リスクがより低いシニアローンで、一般的に保険会社や銀行による投資適格（BBB-以上）への融資。

**コア：**無格付けの場合が多く、裏付け資産のキャッシュフローから得られる収益にフォーカス。利回りは、第一順位ローンと同程度かやや上回る水準。リスクがより高いものとしては、リターン向上を目的としてジュニアローンやエクイティを含む場合もある。

**オポチュニスティック：**高リスクの投資機会で、ジュニア債やエクイティへの参加を伴うことが多い。より高い利回りおよび長期的な資本価値の上昇を目指す。



出所：ブルックフィールド・オークツリー・ウェルス・ソリューションズ。これらの予測値は仮定に基づくものであり、あくまで参考目的で提供されており、将来の実績を示すものではありません。示されている潜在的利回りの範囲は、前提条件によって上下する可能性があります。オポチュニスティック型カテゴリーにおける高い潜在利回りは、それに見合う高い損失リスクを伴います。これらの予測値はあくまで参考例であり、将来の実績予測として解釈されるべきものではありません。

# 世界経済を支えるABF

日常の様々な活動をサポートし、私たちの生活を円滑に動かす役割を果たす

住まい



住宅ローン

業務をサポートする  
データセンター



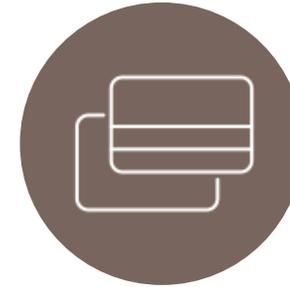
データセンター  
リース

リプレイで聴いている  
ヒット曲



音楽著作権  
使用料収入

夏休みに使った  
クレジットカード



クレジットカード  
債権

旅行で乗った飛行機



航空機リース

例示目的のみ。ABIFポートフォリオの配分を示すものではありません。分散投資は利益を保証するものではなく、損失を防ぐものでもありません。

# 世界経済におけるABFの重要な役割を示す主要な資産タイプ3つ

資産タイプ	例	担保	定期的なキャッシュフロー
有形資産	実物資産	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空機</li> <li>設備リース</li> <li>インフラ資産</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期リース</li> <li>レンタル料</li> <li>テイクオアペイ契約</li> </ul>
金融資産	リースやローンのプール	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車ローン</li> <li>住宅ローン</li> <li>事業・消費者ローン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月次ローン返済</li> <li>リース料</li> <li>金利払い</li> </ul>
	NAVレンディング	<ul style="list-style-type: none"> <li>LP持分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GPコミットメント</li> </ul>
知的財産	キャッシュフローを生む資産	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽著作権使用料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストリーミング収入</li> </ul>

# ABFの仕組み

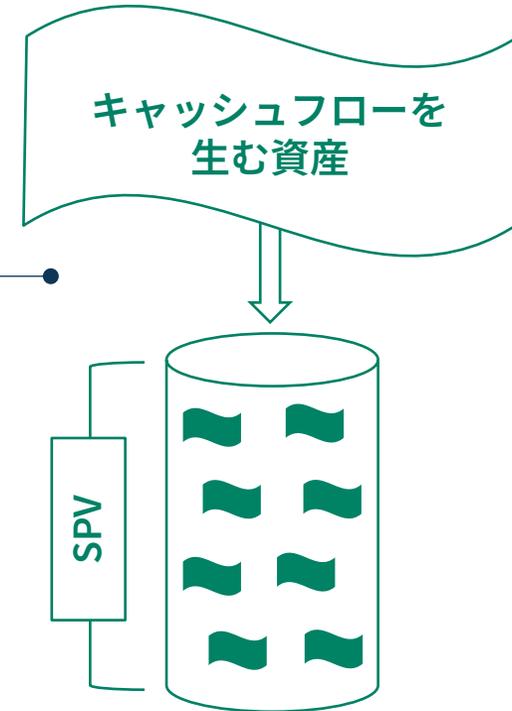
# ABFにおけるSPVの活用：資産のプールと保護

特別目的会社（SPV）を使うことで、資産を企業債務から切り離し、デフォルト時の影響を限定

消費者ローンのプールなどの資産

オリジネーター（資産の提供元）が  
ABF取引の裏付けとなる消費者ローンの  
プールを組成

SPVがこれらの資産を取得し、他の貸し手  
から隔離



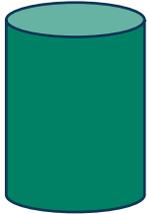
例示目的のみ。ABIFポートフォリオの配分を示すものではありません。分散投資は利益を保証するものではなく、損失を防ぐものでもありません。

# SPVが柔軟な投資エクスポージャーを可能

資本構造全体で相対価値を捉えることで、リスク調整後リターン目標を達成

## 資産の取得（レバレッジなし）

資産ポートフォリオ又は  
ローンプール全体を取得



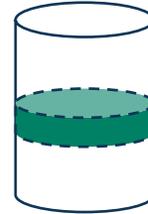
## シニア融資

資産ポートフォリオを担保とする  
シニアローンを組成



## メザニン融資

資産ポートフォリオを担保とする  
非シニアローンを組成  
（ファーストロス部分は他社、  
通常エクイティ投資家が保有）



## 資産の取得（レバレッジあり）

資産を取得し、ポートフォリオを  
担保に借入れを行うことで、  
リターンの向上を図る



投資形式は例示のため選択したものであり、オークツリーが利用するすべての形式を包括的に示すものではありません。シニアデットは通常、倒産時の弁済順位や安全性が高い一方で、メザニンデットは劣後的地位であり担保も限定的なため、リスクが高くなります。記載されている意見は予告なく変更される可能性があり、将来の予測や保証として解釈されるべきものではありません。

## 多様な資産タイプが収益源を分散



### 金融資産

ローン・リース・売掛金など、  
一般的に自己償還型の  
キャッシュフロー資産



### 有形資産

インフラ・設備・航空機などの  
有形資産



### 知的財産

特許、商標、著作権、ロイヤルティ  
などのライセンス収入を伴う  
無形資産

# ABFの具体例3つ

# 1. 日常的な消費者ローンを支える金融資産



借り手

マイホーム所有者の多くは、緊急かつ高額な屋根修理を必要とする場面に遭遇する。

これらの改修費用を賄うために、ローンが活用されるケースが多い。



住宅リフォームローンの形成

ローン提供者は、銀行が融資を行っていない分野に介入し、住宅所有者向けローンを組成。

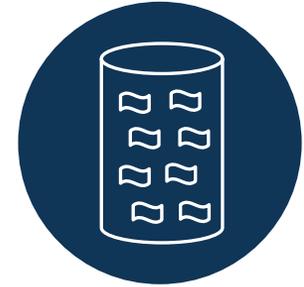
ローン提供者は、ローン需要拡大に対応するため、融資能力の拡大に向けて追加資金の確保に動く。



プライベートABFによる資金調達

ローン提供者は、自社事業モデルに適した融資ソリューションを柔軟に提供するABFレンダーと提携し、資金を獲得。

マイホーム所有者によるローン定期返済によって発生するキャッシュフローは、ABFレンダーへの返済に充てられる。



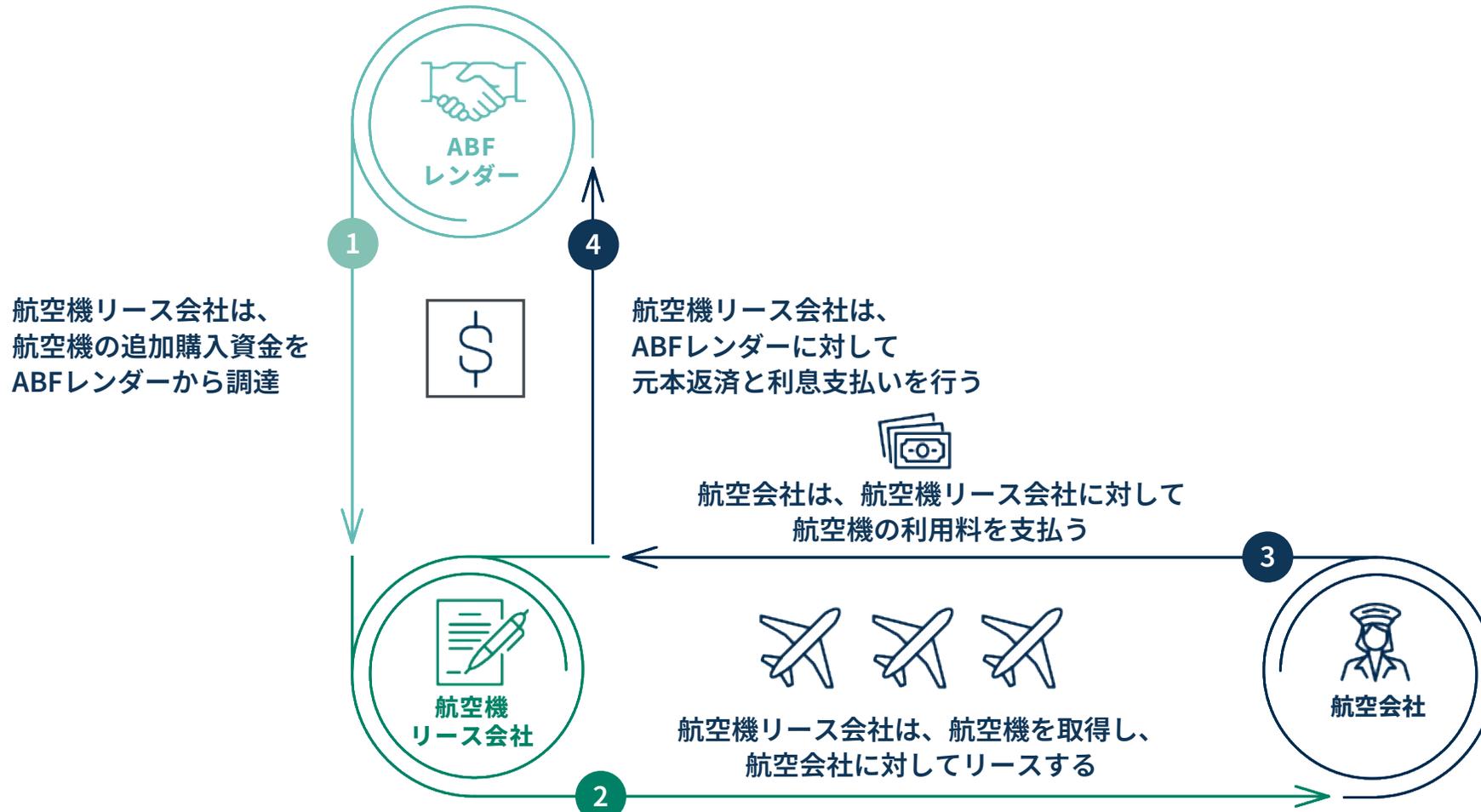
キャッシュフローを生む資産プールを担保に設定

ローン提供者がSPVを設定。ローン数百件をプールして、SPVに組み入れる。

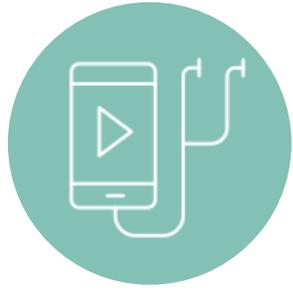
これを、ABFレンダー融資の担保に設定することで、法的保護やキャッシュフロー管理の強化が図られる。

このケーススタディは情報提供のみを目的としており、投資プロセスの一例を示すものです。推奨や投資助言を構成するものではなく、投資判断の根拠として依拠すべきものではありません。記載されている見解は、ブルックフィールド・オーケツリー・ウェルス・ソリューションズのものであり、あくまで参考例として提供されています。

## 2. 資本集約型産業の柔軟な資金調達を可能とする実物資産

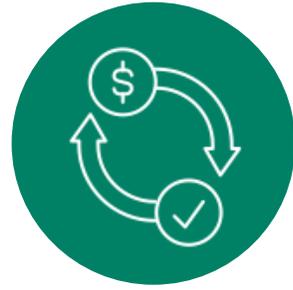


### 3. 知的財産では、将来の権利を保持しつつ資金調達が可能



レコードレーベル

ストリーミングサービスからロイヤルティ収入を生む音楽カタログ（知的財産）を保有するレコードレーベルは、長期的に権利を保護しつつ、事業を拡大するための資金調達を模索中。



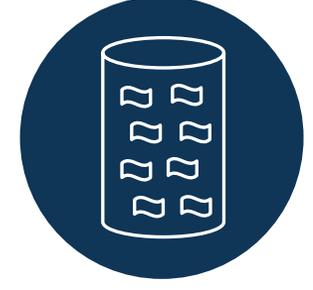
ローン仲介者

ローン仲介者は、ストリーミング権利などの知的財産（IP）資産をプールして、レコードレーベル向けのローンを組成。このローン資金を提供してくれるABFレンダーを探す。



プライベートABF  
レンダー

ABFレンダーは、ローン仲介者の事業モデルに合わせて設計されたSPVを担保として、柔軟な資金調達ソリューションを提供する。



隔離された音楽著作権と  
キャッシュフロー

SPVを活用することで、音楽著作権を隔離し、レコードレーベルの破産や法的請求などのリスクから保護。

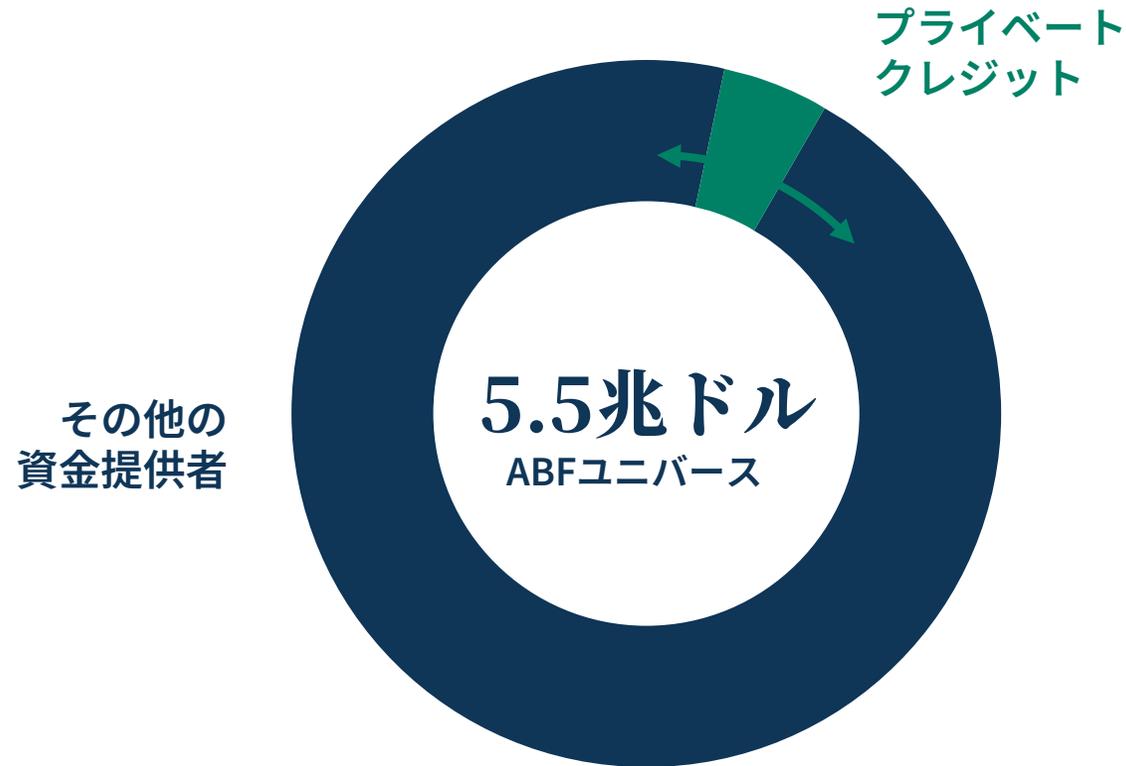
レコードレーベルによる定期的な元本返済および利息支払いは、ABFレンダーへの返済に充てられる。

このケーススタディは情報提供のみを目的としており、投資プロセスの一例を示すものです。推奨や投資助言を構成するものではなく、投資判断の根拠として依拠すべきものではありません。記載されている見解は、ブルックフィールド・オークツリー・ウェルス・ソリューションズのものであり、あくまで参考例として提供されています。

# 拡大するABFの投資機会

# ABFで存在感を増す民間レンダー

銀行は、規制環境、リスク回避、バランスシートの縮小を背景に、ABF市場から撤退している



今日、5.5兆ドル規模を誇るABF市場において民間レンダーが占める割合は5%未満です。しかし、銀行が撤退する中で、民間レンダーの市場シェアは急速に拡大すると予想されています。

これらの事象や予測が必ずしも実現する保証はなく、実際の結果はここに示された内容と大きく異なる可能性があります。出所：Oliver Wyman, Private Credit's Next Act, 2024年4月。5.5兆ドルという数値は、不動産を除く米国のABF市場を示しています。

# ABF投資機会の拡大をもたらしている市場の追い風



## 銀行の撤退

- ・ 規制要件の強化、リスク回避、そしてバランスシートの縮小を背景に、銀行によるABF取引は縮小
- ・ この流れを受けて、ノンバンクの貸し手にとってのビジネス機会が拡大



## 参加者が少ない市場

- ・ ヘッジファンドは、ABFよりも流動性の高い資産を選好
- ・ 保険会社は、一般的に投資適格の投資機会を好む
- ・ プライベート・エクイティ投資家は通常、より積極的なリスク・リターン特性を求める



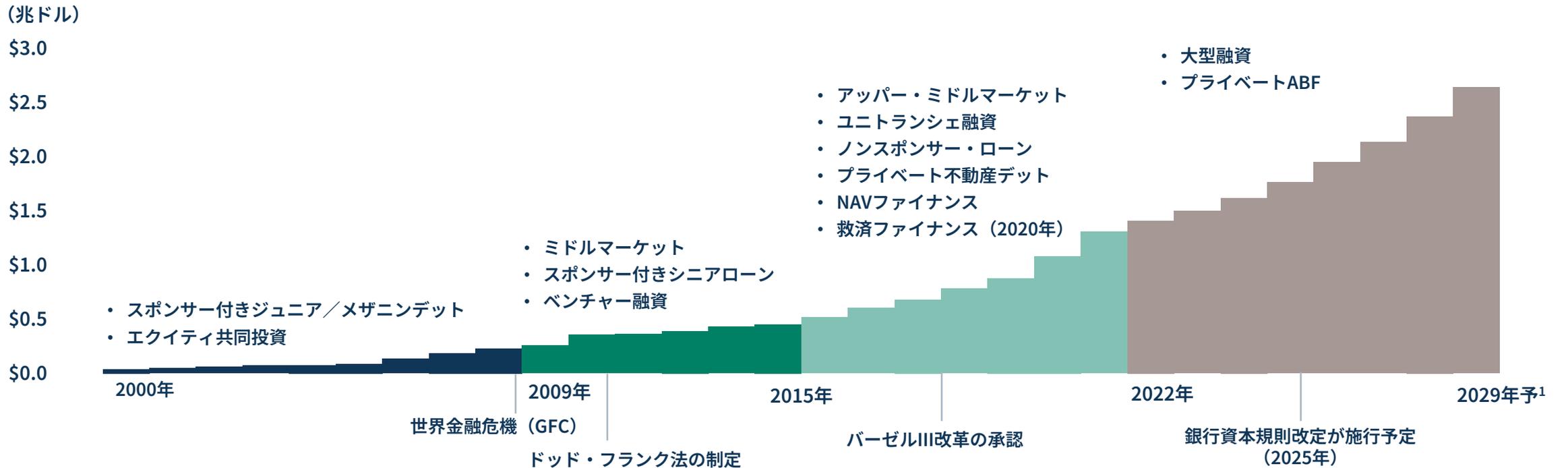
## 借り手需要

- ・ 競争が限定的であるため、ノンバンクの貸し手が市場優位性を生かす機会が提供されている
- ・ 条件交渉における影響力がより大きく、イールドスプレッドの引き上げやレンダー保護の強化につながる

意見の表明はすべて予告なしに変更される可能性があり、将来の出来事や結果を予測するものではありません。オークツリーが投資を行う投資ビークルの存続期間中に、過去トレンドが継続する保証はありません。資産担保融資市場における競争優位性は、必ずしも長期的に持続しません。市場状況が急速に変化し、競争が激化し、他の市場参加者が同等の能力を備える可能性があります。競争の低下による利点は保証されておらず、他の市場要因、クレジット・リスクの上昇または市場動向の変化により相殺される可能性があります。過去の競争状況が続くとは限りません。

# 規制変化を受けたノンバンク・レンダーの台頭

プライベートABFはこの流れから大きく恩恵を受けている

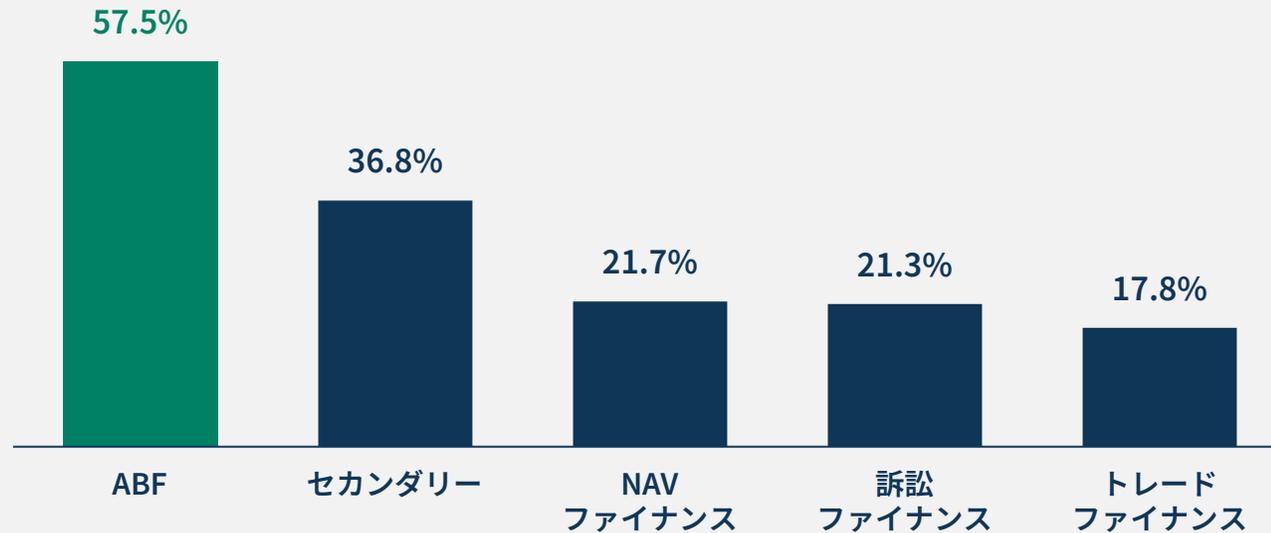


当資料の記載事項や予想値は確約されておらず、実際の結果は大きく異なる可能性があります。1. グローバル・プライベート・クレジットが2023年から2029年（予想）までの間に9.88%の年複利成長率（プレキンによるグローバル・プライベート・クレジットの予想成長率）で拡大するという仮定に基づきます。

# 良好な市場トレンドがABF需要を促進

## ABFは最も選好される新興戦略

回答者の割合 (%)



投資家の58%は、2025年にABF戦略を優先する意思があことを示しており、同分野への関心の高まりを浮き彫りにしている

当資料の記載事項や予想値は確約されておらず、実際の結果は大きく異なる可能性があります。出所：プレキン投資家見通し、2024年下半年。2024年6月時点。プレキンの調査による投資家への質問：「どのようなタイプの新しいプライベート・デット・ファンドが今後12カ月にわたり最良の投資機会をもたらすと考えていますか？」

# ABFのポートフォリオ組み入れ

# ABFの主な利点

市場やオリジネーターの影響を受けにくい特徴を活かし、投資ポートフォリオに多様なメリットを提供



## インカム

- 担保資産からのキャッシュフローが安定したインカムをサポート
- 市場の競争が少ないため、より優れたリターンと有利な条件が可能に



## リスク低減

- 破綻隔離構造が下振れリスクを抑制
- キャッシュフローを生む実物資産が投資を裏付け



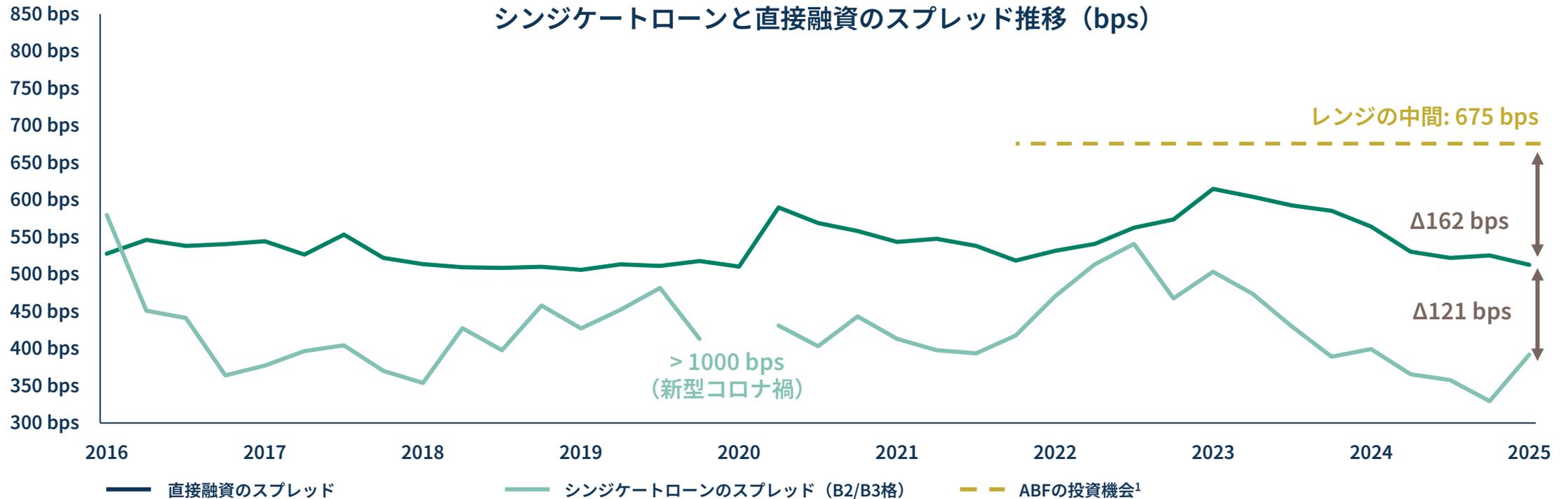
## 分散

- 従来型のコーポレート・クレジットとは異なるエクスポージャー
- 多様な資産タイプがセクター相関の低減に寄与

意見の表明はすべて予告なしに変更される可能性があり、将来の出来事や結果を予測するものではありません。オークツリーが投資を行う投資ビークルの存続期間中に、過去トレンドが継続する保証はありません。当戦略への投資には高度のリスクが伴います。ABF投資から一貫したインカムが得られる保証はありません。担保資産からのキャッシュフローは、予測できない可能性があり、予想とは大きく異なる可能性があります。インカムの分配は確約されておらず、リターンに寄与する競争優位性は必ずしも持続しません。分散が利益を生み出す、または損失を回避する保証はありません。資産タイプ間の相関は、市場ストレス局面で上昇する可能性があり、資産担保融資内の一部の資産クラスは、分散にもかかわらず高い相関を維持する可能性があります。異なるエクスポージャーは、市場のボラティリティから保護するものではありません。倒産隔離構造および資産担保は、すべての投資リスクを排除するものではありません。キャッシュを生み出す資産がキャッシュの創出を停止する可能性があり、資産価値が大きく低下する可能性があり、構造上のプロテクションは、あらゆる状況において損失を回避するものではありません。構造上の特徴に関わりなく、下振れリスクを完全に排除することはできません。

# ABFでより高いイールドを狙う

市場の混雑が少なく、複雑性プレミアムがリターン向上に寄与

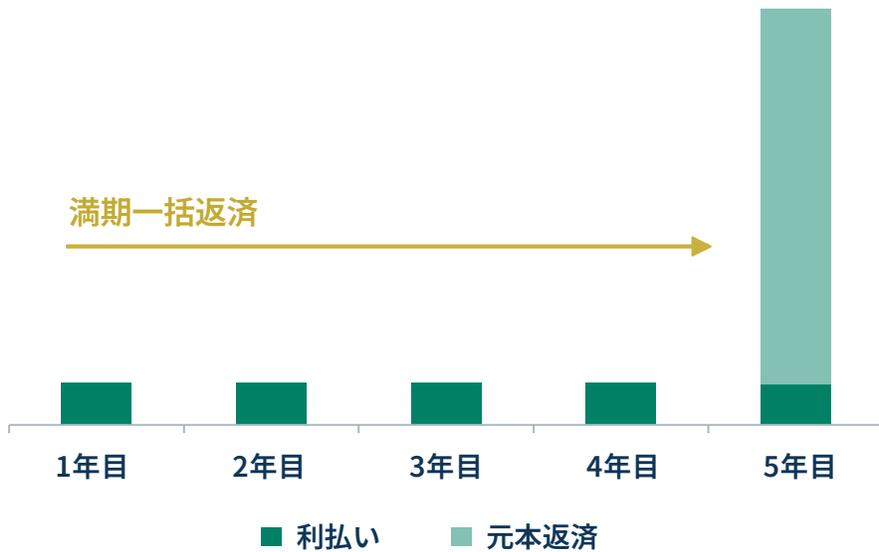


2025年3月31日時点。出所：BofAグローバル・リサーチ。上図は、ダイレクト・レンディング・ローンについては第1順位のマージン、B2格とB3格のシンジケートローンについては第一順位のマージンを、2016年から2024年12月まで四半期ベースで示しています。現在、ダイレクト・レンディングの第一順位のマージンは525.2bps、B2/B3格のシンジケートローンの第一順位のマージンは329.0bpsです。1. オークツリーの観察に基づきます。高いスプレッドは通常、高いクレジットリスクを反映しており、実際のリターンが高いことを保証するものではありません。同等のスプレッドの優位性は、必ずしも長期的に持続せず、予想スプレッドは実際のパフォーマンス結果を保証するものではありません。異なる戦略間のスプレッド比較のみに基づいて投資判断を下すべきではありません。

# 割賦返済によるリスクエクスポージャーの低減

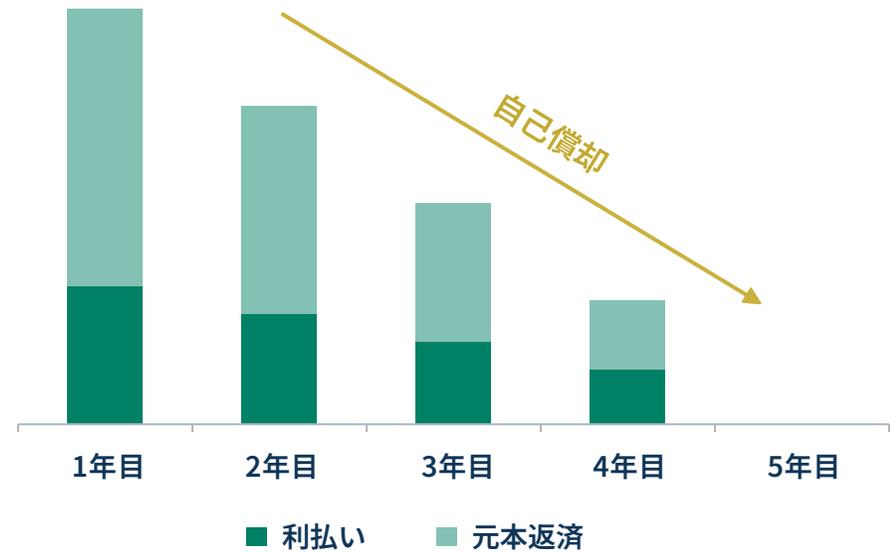
住宅ローンと同様に、ABFの借り手も元本と利息を定期的に返済する

### 企業向け直接融資の例



資本市場でのエグジット、借り換え、売却に依存

### プライベートABFの例



エグジットリスクの低減：裏付け資産の特性により、実質的に自己償却が進む

例示のみを目的としています。

# ABFは企業向け直接融資の補完役

直接融資 <sup>1</sup>		ABF <sup>2</sup>
コーポレートクレジット	担保	消費者、企業、設備、不動産、インフラ&エネルギー
なし	自己償却	あり
企業特性に応じたキャッシュフロー評価	アンダーライティング	アセット特化の専門知識
破綻手続きの対象	構造上のプロテクション	手厚いプロテクション／ノンリコース型SPV
借り換えエグジット	資産のデリスキング	契約に基づくキャッシュフロー
中程度	市場における競争	低い
2桁台前半	イールド水準	ジュニア2桁台前半、シニア1桁台後半
中程度	その他指数との相関関係	低い

出所：クリフウォーター、オークツリー。1.直接融資は、クリフウォーター・ダイレクト・レンディング・インデックスによって表されています。各種指数は運用されるものではなく、投資家が直接購入することはできません。指数のパフォーマンスは説明目的のみで示されており、いかなる投資の成果を予測または示すものではありません。2.ABFは、オークツリーが社内データに基づいて推定したものです。リターンは幅広いプライベート取引と、リターン特性に関する社内評価に基づいており、説明および情報提供の目的のみに示されています。内容は予告なく変更される可能性があります。

# クレジット再考：パブリックとプライベート両方の組み入れ

直接融資やABFを活用して分散を図ることで、利回り、スプレッド、リスクが改善する

パブリック・クレジット



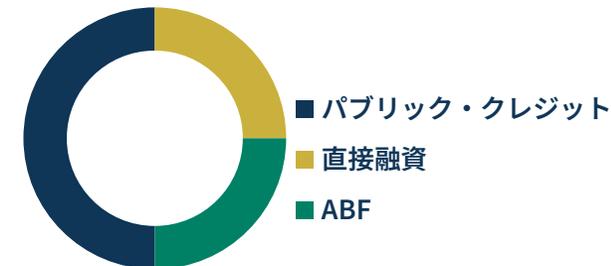
パブリック・クレジット

直接融資を組み入れ



パブリック + 直接融資

ABFを組み入れ



パブリック + 直接融資 + ABF

グロス利回り	6.06%	6.58%	7.10%
グロススプレッド	195 bps	262 bps	318 bps
予想信用損失率	0.57%	0.47%	0.40%
平均格付け	BB+	BB+	BB+

過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。当資料で示した過去の実績はあくまで参考情報であり、将来の投資成果を予測または示唆するものではありません。インデックスは運用されておらず、投資家がインデックスに直接投資することはできません。表示されている指標はあくまで仮想のものであり、説明を目的とした例示にすぎません。実際の投資成果や将来のパフォーマンスを示唆するものではなく、将来の成績を予測するものとして依拠すべきではありません。パブリック・クレジットは、ICE BofA米国コーポレート指数70%、ICE BofA米国ハイイールド指数30%で構成される例示ポートフォリオに基づいています。パブリック+直接融資は、ICE BofA米国コーポレート指数35%、ICE BofA米国ハイイールド指数15%、プライベート投資適格コーポレート指数35%、直接融資15%で構成される例示ポートフォリオを、代表的なスプレッドと利回りに基づいて示しています。パブリック+直接融資+ABFは、ICE BofA米国コーポレート指数35%、ICE BofA米国ハイイールド指数15%、プライベート投資適格コーポレート指数17.5%、直接融資7.5%、投資適格ABF 17.5%、および投資適格未済ABF 7.5%で構成される例示ポートフォリオを、代表的なスプレッドと利回りに基づいて示しています。2025年4月30日時点。このチャートは特定のクレジット配分戦略を比較していますが、投資判断に大きな影響を与える複数の重要要素は省略されています。流動性制約、管理手数料、税制上の取扱い、リスク要因の違いなどが十分に反映されていないため、投資前に慎重な検討が必要です。

# オルタナティブ投資の 世界をナビゲート

# 付録：主な用語

**アタッチ／デタッチ**：貸し手のリスクが資本構造の中で開始（アタッチ）し、終了（デタッチ）するローン残高の割合。

**バーゼルIII改正**：2007～2009年の世界金融危機を受け、バーゼル銀行監督委員会によって策定された国際的な銀行規制の包括的枠組み。銀行の自己資本要件を強化し、リスク管理を改善し、流動性基準を強化することで金融システムの安定性を高めることを目的としている。

**ベースポイント（bps）**：金利やその他の割合を示す金融の単位。100ベースポイントは1%に相当する。

**世界金融危機（GFC）**：2007～2008年に発生した深刻な世界的経済危機。米国住宅市場の崩壊と大手金融機関の破綻を引き金とし、信用収縮、家計資産の急減、世界的不況を招いた。金融市場のシステムリスクを顕在化させ、大規模な規制改革と政府介入を促した。

**インターバル・ファンド**：定期的に投資家から自己の持分を買い戻すオファーを行う投資信託。流動性は限定的。

**レバレッジ**：借入金を用いて投資の潜在的回収率を高める手法。ただしリスクも増大する。

**メザニン・レンディング**：シニアローンより劣後する貸付。リスクが高い分、潜在的な回収率も大きい。

**シニア・レンディング**：デフォルト発生時に返済優先順位が最も高い貸付。

**SOFR（担保付翌日物調達金利）**：米ドル建てローンの指標金利。

**SPV（特別目的事業体）**：金融リスクを隔離し、元の資産保有者が財務的困難に陥った場合でも投資家を保護するために設立される独立した法人。

# 開示事項

©2025ブルックフィールド・オークツリー・ウェルス・ソリューションズ・エルエルシーは、ブルックフィールドの完全子会社です。ブルックフィールド・オークツリー・ウェルス・ソリューションズ・エルエルシーは、米国証券取引委員会（SEC）の登録ブローカー・ディーラーであり、米国金融業規制機構（FINRA）と米国証券投資者保護公社（SIPC）の会員です。

当資料に含まれる情報は、教育および情報提供のみを目的としており、いかなる証券もしくは関連する金融商品の募集または購入申し込みの勧誘ではなく、そのように解釈してはなりません。当資料内の説明は広範な市場、産業もしくはセクターのトレンドまたはその他の一般的な経済や市況を論じており、秘密情報として提供されています。

ブルックフィールド・コーポレーションとその関係会社（総称して「ブルックフィールド」）が設定するいかなる商品に適用される条件の概要の提供を目的としたものではありません。当資料で提供される情報の一部は、ブルックフィールドの内部調査に基づいて作成されており、一定の情報はブルックフィールドによる様々な仮定に基づいており、いずれの仮定も正確とは限りません。ブルックフィールドは、当資料に含まれる情報（第三者から提供される情報を含む）の正確性または完全性を必ずしも検証しておらず（そして検証する義務を負わず）、いかなる情報についても検証されたものとしてブルックフィールドに依拠することはできません。当資料で提供された情報は、当資料作成時点におけるブルックフィールドの視点および信念を反映しています。

当資料で示された意見は、子会社および関連会社を含むブルックフィールドの現在の意見であり、予告なく変更される場合があります。子会社および関連会社を含むブルックフィールドは、当該情報の更新または顧客への変更の通知を行う責任を負いません。当資料に提示されたいかなる見通し、予測またはポートフォリオ保有比率も当資料に示された日付時点のものであり、予告なく変更される場

合があります。過去の実績は将来の成果を示唆するものではなく、投資の価値およびそれらの投資から生じるインカムは変動する可能性があります。

## プライベート・クレジットのリスク

オルタナティブ投資は複雑かつ投機的であり、全ての投資家に適したものではありません。オルタナティブ投資には高リスクが伴い、オルタナティブ投資ファンドの投資目標が達成される又は投資元本が返済される保証はありません。

すべての投資にはリスクが伴います。投資の価値は時間とともに変動し、投資家においては、利益を得るもしくは投資の一部または全てを損失する可能性があります。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

資産クラスとして、プライベート・クレジットは多様なデット商品で構成されています。それぞれのリスク／リターン特性は異なるものの、プライベート（非上場の）クレジット投資では、資金調達の選択肢が限定的な企業へのオポチュニスティックな投資を模索するため、一般的に、上場のものと比較してデフォルト・リスクが高くなります。

プライベート・クレジット投資では、通常、発行体が投資適格未満または無格付けであるため、より高いリスクの対価として利回りもより高くなります。

## 将来の見通しに関する記述

当資料は、米国連邦証券法令、具体的に米国1934年証券取引所法（その後の改正を含む）第21E条、そしてカナダ証券法令における意義の範囲内における将来の見通しに関する記述を含む情報やそれらに基づく情報が含まれています。将来の見通しに関する記述は、事業戦略や投資戦略もしくは戦略遂行のための措置、競争力、目標、事業の拡大および成長、計画、見込み、将来の成功への言及など、

将来の行動、事象または動向に関して、過去の事実の記述以外のすべての記述を含みます。これらの記述は、過去または現在の事実と厳格に関連しないという事実によって特定することができます。

「予測」、「推定」、「期待」、「予想」、「想定」、「計画」、「考え」やその他の類似する用語は、これらの将来の見通しに関する記述を特定するために用いられます。将来の見通しに関する記述は、不正確な仮定や既知もしくは未知のリスクおよび不確実性によって影響を受ける可能性があります。そうした要素の多くは、将来の実際の結果や成果を決定する上で重要となります。そのため、いかなる将来の見通しに関する記述についても保証はありません。実際の結果や成果は大きく異なることがあります。これらの不確実性を踏まえ、これらの将来の見通しに関する記述に不当に依拠するべきではありません。

# 開示事項

## インデックス・プロバイダーに関する免責事項

当資料内で引用されたインデックスは運用されておらず、投資家がインデックスに直接投資することはできません。インデックスのパフォーマンスは例示のみを目的として記載されており、いかなる投資のパフォーマンスも予測または表示するものではありません。当該比較に関連して、記載されたインデックスとブルックフィールドの戦略、コンポジットまたはファンドへの投資との間には、ボラティリティや規制上および法律上の制約の違いなど、重大な要因が存在する可能性があります。ブルックフィールドは、第三者のインデックス・スポンサーからインデックスに関するすべてのデータを取得しており、当該データは正確と考えていますが、その正確性に関していかなる表明も行うものではありません。インデックスは運用されておらず、投資家がインデックスに直接投資することはできません。

ブルックフィールドは、第三者のインデックス・スポンサーからインデックスに関するすべてのデータを取得しており、当該データは正確と考えていますが、その正確性に関していかなる表明も行うものではありません。インデックスは運用されておらず、投資家が直接購入することはできません。ブルックフィールドは、当資料で参照されたインデックスを所有しておらず、その構築または日々の管理に関与していません。当資料に記載されたインデックスの情報は、お客様への情報提供のみを目的としており、ブルックフィールドの運用商品が同様の結果を達成すると暗示または予測するものではありません。当該情報は予告なく変更されることがあります。当資料で参照されたインデックスは、いかなる報酬、費用、販売手数料または税金も控除していません。インデックスに直接投資することはできません。インデックス・スポンサーは、インデックスおよび関連データの「現状のまま」での使用を許可しており、これに関していかなる保証も行わず、インデックスまたはインデックスに含まれる、関連する、もしくはそこから派生するデータの適合性や品質、正確性、適時性、完全性を保証せず、それらの使用に関連して一切

の責任を負いません。インデックス・スポンサーは、直接的、間接的、特別、偶発的、懲罰的、結果的またはその他の損害（利益の損失を含む）について一切の責任を負いません。インデックス・スポンサーは、ブルックフィールドまたはそのいかなる運用商品やサービスの後援、是認または推奨も行うものではありません。別段の注記がない限り、すべてのインデックスはトータル・リターン・インデックスです。

## インデックスの定義

クリフウォーター・ダイレクト・レンディング・インデックス（CDLI）：米国ミドルマーケット向けに直接組成されたローンを対象とする資産加重型インデックスで、プライベートローンのパフォーマンスや特性をベンチマークすることを目的としています。約19,000件のローンをカバーし、総資産規模は4,650億ドルに上ります。

クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス：米ドル建てレバレッジド・ローン市場の投資可能ユニバースを反映するように設計されています。

クレディ・スイス・ウェスタン・ヨーロピアン・レバレッジド・ローン・インデックス：西欧レバレッジド・ローン市場の投資可能ユニバースを反映するように設計されています。

FTSE米国ハイイールド・マーケット・キャップド・インデックス：米ドル建てハイイールド社債のパフォーマンスを測定するインデックスで、発行体ごとのエクスポージャーに上限を設け、投資適格から格下げされた債券の組入れを一定期間遅らせる仕組みを採用しています。

ICE BofA メリルリンチ・グローバル・ハイイールド・ヨーロピアン・イシューーズ・ノンフィナンシャル3% コンストレインド（除くロシア）インデックス：ロシア関連を除外し、発行体の比率を3%

に制限した、非金融の欧州発行体によるユーロ建てハイイールド社債を追跡する指数です。

ICE BofA US ブレット・エージェンシー・インデックス：米国内市場で発行された、米ドル建てのバレット型（繰上償還不可）の政府機関証券を表す指数です。

ICE BofA 米国コーポレート・インデックス：米国国内市場で公募発行された米ドル建て投資適格社債のパフォーマンスを追跡していません。

ICE BofA US モーゲージ・バックド・セキュリティーズ・インデックス：米国政府機関が発行する固定金利およびハイブリッド型の住宅ローン・パススルー証券のパフォーマンスを測定する指数です。

ICE BofA US トレジャリー・インデックス：満期の異なる米国財務省証券のパフォーマンスを捉え、金利感応度と政府債務の信用力を反映する指数です。

B-797948

**Brookfield** |  **OAKTREE**

WEALTH SOLUTIONS

 [brookfieldoaktree.com](https://brookfieldoaktree.com)